

維に相当

補強材に応用

ほ、木材を分解して作った幅約3ナノメートル(ナノは10億分の1)の繊維が、鋼鉄の約10倍、丈夫なことを発見し、超微細な補強材としての応用が見込める。

つかんで引っ張り、切れたときに力がかかる方を測定して求める。
しかし幅3ナノメートルの繊維をつかむ手段はなく、1

大阪大学の竹谷純一教授、大阪府立産業技術総合研究所の宇野真由美主任研究員の研究チーム

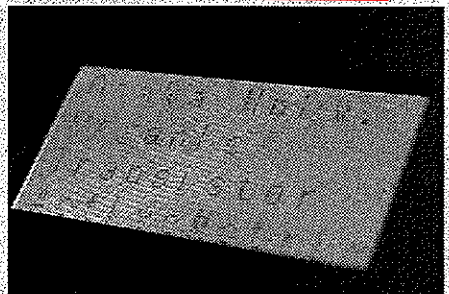
有機TFE液晶ディスプレイ 解像度9倍、高速表示

大阪大学の竹谷純一教授、大阪府立産業技術総合研究所の宇野真由美主任研究員の研究チーム

効となる可能性があるとい

既知のがん遺伝子は、複数の遺伝子変異でがんを導くタイプが多く、遺伝子を特定できても治療に結びつきにくかった。今回は一つの遺伝子を標的にして治療効果を引き出せると期待される。

大阪大学 自治医大



は、有機半導体を用いて、従来の9倍に相当する高解像度で高速表示ができる世界最高性能の有機薄膜トランジスタ(TFE)液晶ディスプレイを開発した。有機半導体を溶液で塗布して同時に結晶化させる技術を改良し、損傷を与えない微細加工技術を開発することで実現した。

阪大など研究チームが開発した有機TFE液晶ディスプレイは、強度が足りない、高価などの課題がある。セルロースナノファイバーを加えれば「ポリ乳酸の使用量を減らしつつ強度を高められる可能性がある

技術開発などで16件に助成金
新技術開発財団
新技術開発財団(東京都大田区、牛尾治明会長)が、2012年度の「新技術開発助成金」(第2

次)の助成先11件と、「東日本大震災復興支援特定研究助成」の助成先5件を決めた。新技術助成の総額は1億4475万円、独自の新技術の実用化を目指す企業に助成する。復興支援助成は総額1492万円で、除染関連技術など、被災

地の問題解決に貢献する大学の研究開発を支援する。助成先の企業、研究代表者は次の通り。
▽新技術開発助成金 ㈱ラタテック(群馬県太田市)、シンターランド(新潟県長岡市)、フアインテック(福岡県柳川

市)、ハイペップ研究所(京都市上京区)、創晶(大阪府吹田市)、木村工業(広島県呉市)、金沢鉄工所(川崎市川崎区)、メデイカルイオンテック(東京都大田区)、太陽工業(長野県諏訪市)、東海工業ミシン(愛知県春日井

市) 支援特 介東東 夫名 圭司 貝慶 大谷 教授

学進 社会変化で細則復活

月から13年1月まで4回にわたる審議の内容を取

とした。また新設以外にも含め、

震災建造物の非破壊計測集 情報通信機構が無償提供

情報通信 研究機構は 4日、東日本大震災で被災した建造物の被害状況を調べた「電磁波計測ケーススタディ集」を作成したと発表した。12日から建築・土木・電磁

発個 度採 点」